

## 『特別支援学級でミニ外国語活動』

中 川 麻衣子

(旭川市立永山南小学校)

知的障害学級の担任をしています。クラスには、1年生から6年生まで6名の児童がいますが、それぞれ知的障害だけでなく、他の障害を併せ持っている子もあり、一人ひとりがとても個性的です。人とのコミュニケーションをとることは、全員の課題です。

楽しい活動で友達とコミュニケーションを図る、お互いを知る、自分の表現方法を増やす、音楽を聞いたり体を動かしたりすることで情緒の安定を図る、などの目的から、授業の中に外国語活動を取り入れてみました。私の試行錯誤の取り組みをご紹介します。

### 1. 子どもたちの「好き」をスタートとして活動を考える

好きな色、好きな形、好きな食べ物や動物など・・・6人それぞれの「好き」を学習するトピックとして取り上げることが効果的でした。少人数だからこそできる利点です。「〇〇さんの好きな色は何？」と聞いて他の児童が答えることができるようになったとき、自分だけでなく互いへの関心も高まり、けんかが少なくなりました。

### 2. テンポが多多少少ゆっくりで、歌詞がはっきり聞き取れるCDを使う

MPI Best Selection Song and Chants(松香フォニックス研究所)の「The Hokey Pokey」と「I Have a Joy」は、クラスの子達が何度も何度も聞いてリクエストする曲なので、ウォームアップに使っています。「I Have a Joy」では、友達同士腕をぶつけ合うことで、力の加減を学ぶことができました。

### 3. 英語で言えないときに使う「らくらくペン」(成美堂)

「大型掛図」や「らくらくシール」には、高精度の印刷が施されており、「らくらくペン」のペン先のセンサーが、そのデータを読み取って音を出してくれます。子どもたちが好きなのは効果音で、互いにクイズを出し合ったり、賞を与えるときのBGM代わりに使ったりすることもできました。私の学級では、“子どもの発話の代わり”として使ってみたところ、効果がありました。

### 4. ミニ英語活動の流れ

1回の外国語活動は約20分で、週に1回、次のような活動を行います。

活 動	内 容
①ウォームアップ	CDに合わせて体を動かし、楽しい気分。
②アクティビティ	・今日の日直さんの服を選ぼう！ ・動物の鳴き声クイズ ・好きなものを紹介する“I like 〇〇.” ・BINGOの名前替え歌
③歌(まとめの活動に置き換えることもあります)	「Hello Song」(MPI Best Selection Songs and Chants) 「手遊びABCソング」(歌っておぼえるらくらくイングリッシュ) 「I Like Blue」(〃) など